

## 東北支部学術講演会

### 講演 II

#### 座長集約

東北大学病院 小野寺 崇

令和3年度東北支部学術講演会はCOVID-19をテーマに開催され、①各施設における感染対策・画像提示、②仙台市内におけるホテル療養者への往診X線撮影とドライブスルー型PCR検査の実際について各演者にご講演いただいた。その詳細を以下に記す。

#### ○COVID-19患者の画像提示

- ・DR画像提示と感染対策 仙台市立病院 佐々木 康太氏
- ・CT画像提示と感染対策 大崎市民病院 本田 崇文氏

佐々木氏、本田氏からは自施設におけるCOVID-19患者の画像を提示いただき、加えて撮影時の感染対策について報告いただいた。DR画像・CT画像いずれもCOVID-19の典型ともいえるスリガラス状の陰影を中心に提示いただき、大変参考になった。また撮影時の感染対策について動画を交えて解説いただき、特に「手で触れること」の影響が非常に大きいことを証明され、改めて手指衛生の重要性を感じさせる報告であった。

#### ○仙台市内におけるCOVID-19患者への往診X線撮影

- ・システム構築 東北大学病院 志村 浩孝氏
- ・東北大学診療所ドライブスルー型PCR検査とホテル療養所往診X線撮影の実際  
東北大学災害科学国際研究所 稲葉 洋平氏

志村氏、稲葉氏からは主に仙台市内で行われている、ホテル療養者への往診X線撮影とドライブスルー型PCR検査について報告いただいた。志村氏からは仙台市内の感染者の推移、また自治体と連携したネットワーク構築について解説いただいた。稲葉氏からは往診X線撮影、PCR検査について実画像を交えて解説いただき、講演の最後には放射線技師とDMATの重要な連携について実際に携わっている立場からご意見をいただいた。